

●診療科紹介

リウマチ膠原病の外来や入院での診療を行う。従来から同領域は総合診療科、腎臓内科などで行われていたが、標榜化にて患者のアクセス改善、院内外との連携が強化されることを目標としている。

●主な診療内容

<治療>

副腎皮質ステロイド、免疫抑制剤、生物学的製剤などの内科治療。

<外来>

週2回リウマチ科の外来(一枠は腎臓内科と同時)。

病診連携行う(病状が落ち着いている患者はかかりつけ医と連携)。

<入院>

入院治療が必要な場合は、当科などで治療。入院時の主治医以外の担当医として腎臓内科医があたる場合あり。

●スタッフ

医師 太田康介 (診療部長、腎臓内科と兼任)

●実績(令和3年度)

<外来>通院患者 128 例

(令和3年度末患者数. 一部の腎病変合併例は除く)

	疾患	患者数
1	関節リウマチ	54
2	リウマチ性多発筋痛症	14
3	シェーグレン症候群	10
4	強皮症(全身性、限定性)	8
5	全身性エリテマトーデス	6
6	IgG4 関連疾患	3
7	多発性筋炎/皮膚筋炎	2

<入院>9 例 (延べ人数)

	疾患	患者数
1	リウマチ性多発筋痛症	3
2	全身性エリテマトーデス	2
3	ANCA 関連血管炎	1
4	IgG4 関連疾患	1
5	多発性筋炎	1

<院内連携>

他科入院、外来患者の併診(循環器、呼吸器、総合診療、整形外科、皮膚科、眼科など)

●教育

ベッドサイドなどでの on job training、内科カンファレンスでの講義

●研究・学会活動

日本リウマチ学会教育施設